

というんですね。本当にゴビ砂ばくを旅行して帰って来ると、目がよくなるんですね。問は最初、成田に帰ってきて新聞を読んだ時に、ぼけて見えるんですね。視力がよくなって前と同じように見えないんです。本当に良くなるんです。ところが、それがくせもので、素晴らしいと思って自由行動してもらっていた。ところが夜の9時に点呼をとるとどうも1人いないんです。ひと晩さがしたけれども一つからない。本人は、実は8ミリを撮っていたんですね。動物をいろいろとおいかけて8ミリを撮っているうちにどこまで行っても平らだと思っていたところ、ふりかえって見るとテントが見えなくなってまよってしまったんです。そこで、村の人から、観光客から、みんな出て、ジープからトラックからみんなつかって一晩さがしたけれども出てこない。朝になったら、その人から帰って下さいと言われた。昔から砂ばくでまよって朝になって帰ってこなくて助かったためしがないと言うんですね。帰ってくるなら、なにかにみつけれられて、らくだに乗って帰って来るといいます。というのは、夜になると砂ばくの掃除人がいるわけですよ。それにみんな食われて死んでしまうというわけです。ところが軍隊のヘリコプターがその男を発見してくれたんです。38キロも先でふらふらしているところを見つけられて帰ってきました。夜、火の玉が出たり、いろんな動物が出て来たそうです。でもいろんなのに守られながら夜を明かしたそうです。この男が助かった時、私はモンゴルに運みたいなものを感じましたね。そして、いのちを救ってもらったんだから、モンゴルによろこばれることをやってみようかなあと思われました。それで物産展などもやってみようという気になったんです。

私は三つの点でモンゴルの素晴らしさを痛感しているんですが、

①人情。日本人と同じふんいきですね。呼吸があうんですね。

②自然。モンゴルの自然の素晴らしさですね。

③条件。かくされた資源大国の可能性が充分あるということです。

今のところ中国とソ連の二つの大国があり、行くのに大変ですが、そのうち直行便も出るようになると思います。去年は名古屋からチャーター便が5便出ました。今年は10便くらい出ると思います。が、新潟からは私どもが1便出す予定です。是非、機会がありましたら、モンゴルに行っていたきたいと思います。のびのびといのちの洗たくをこのゴビ砂ばくを見てしていただきたいと思います。

皆さんの素晴らしいご活躍に心から敬意を表しましておわらせていただきます。ありがとうございました。

1月21日例会：メンバーを理解しよう 新入会員卓話 佐藤文夫君

1月29日例会：新年宴会 7:00 さどや



三条北ロータリークラブ週報

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー 第2560地区ガバナー 橋本 力

例会日
1992. 1 . 14
累計 No 253
当年 No 28

会長／山上茂夫

幹事／堀川正幸

SAA／味方義一

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事：卓話「モンゴルの自然と最近事情」

新潟国際文化交流センター／新潟・モンゴル親善協会 理事長 木村 毅殿

出席：本日の出席 53名中37名

先週の出席率 53名中49名 92.45%

先週のメークアップ：1月8日 三条RCへ 高橋彰雄君 佐藤啓策君 本間建雄美君

9日 新潟西RCへ 山上茂夫君 佐藤文夫君

13日 三条南RCへ 山本 充君 加藤 実君 芦田義重君

村山誠一君

ビジター：三条RCより 五十嵐昭一君

三条南RCより 馬場信彦君 吉田秀治君 三原徹夫君 小林博久君

坪井正康君 弥久保藤雄君 若林幸哉君

会長挨拶：山上茂夫

お食事がお済みでない方はごゆっくりお召し上り下さい。またお済みの方も片方のお耳だけで結構ですし、目は閉じたままで結構ですからリラックスして戴きたいと思います。

今日は三条南クラブから、馬場さん、吉田さん、弥久保さん、小林さん、坪井さん、三原さん、若林さん、三条クラブから五十嵐さんお越し頂き有難うございます。

今日はゲストとして新潟国際文化交流センター・新潟・モンゴル親善協会理事長木村毅先生をお招きしております。また（株式会社）新潟ヴィスナーの代表取締役でもあられます。お話は「モンゴルの自然と最近事情」と言う興味深いお話をして戴くことになっておりますので、ゲストの皆さんも最後までごゆっくりしていただきたいと思います。

さて、今日も先回到続いて雪のない例会となりました。この前は（百人一首）のお話をしたのですが、百人一首はよく知らない、もっと詳しく（歌の）内容を話してくれればよかったのに、と言う会員もありましたので事務所で若い職員にぎいたところ、矢張り全然判らないとの事でした。

二回目に行った時、17人くらいで行ったんですが、ゴビ砂ばくに行ったんです。砂ばくだと思っていたんですが、実はお花畑なんですね。見わたすかぎり真平らで一日中、シンキローが出るわけです。海やビルディングが出たりします。そしてずーっとすんでいますからモンゴル人は目がいい